

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／

研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座

(NEDO SSA, 2025年度 第1回(9期))

受講生募集要領

応募申請書提出期間:

2025年4月3日(木)～4月18日(金)正午(必着)

研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座

NEDO Startup Supporters Academy (NEDO SSA)

2025 年度第 1 回(9 期) 受講生募集

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という)は、研究開発型スタートアップ支援人材育成プログラム NEDO Startup Supporters Academy (以下、SSA プログラムという)を実施します。この育成プログラムの受講を希望される方は、本募集要領に従い応募してください。なお、本事業のスケジュールや講義内容等、実施内容の一部は、募集終了後に変更する場合があります。

I. 件名

「NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 (NEDO SSA、2025 年度第 1 回(9 期))」に係る受講生の募集

II. 事業概要

II-1. 背景・目的

研究開発型スタートアップは、先端技術の社会実装や事業化を通じてイノベーション創出の担い手となることが期待されています。スタートアップ・エコシステムの構築・底上げによって研究開発型スタートアップの設立や成長を後押しし、それらの数と質を共に高めていくことは、日本の産業競争力の強化に繋がります。

しかし、日本では、技術面と事業経営面の両面に長けた研究開発型スタートアップは多くありません。研究開発型スタートアップの設立や成長を妨げている要因の1つとして、研究シーズの事業化に対する深い知見に基づきスタートアップの活動を伴走支援できる支援人材の不足が挙げられます。そのため、支援人材の質やパフォーマンスの向上を図り成長を促すとともに、支援人材の人数を着実に増やしてゆき、スタートアップが支援人材による支援を身近に享受できる世界の実現へ繋げていくことが必要です。

このような状況のもと、NEDO は、支援人材に求められるマインドセットや、広い知見、スキルを有し、研究開発型スタートアップの創出から成長を伴走支援できる中核的な支援人材を育成し、スタートアップ・エコシステムを構築していくために、2017 年から SSA プログラムを実施しています。

今回、2025 年度第 1 回(9 期) SSA プログラムの受講生を募集します。

II-2. SSA プログラムで養成を目指す支援人材

SSA プログラムでは、以下の「養成方針」に基づき、研究開発型スタートアップの支援人材に求められるマインドセットや知見、スキル等の習得、およびネットワークの構築に向けた研修を行います。これにより、「目指す支援人材像の例」に示す、バランスの取れた支援人材の養成に取り組みます。なお、研究開発型スタートアップの支援は多岐に渡り、技術シーズの技術分野や、研究開発型スタートアップの成長ステージによって、支援人材に必要とされる知見やスキルは異なります。SSA プログラムは、特定分野に係る専門知識の深掘りではなく、網羅的な知見やスキルの提供を目指しています。

<養成方針(プログラム概要)>

■ マインドセットの醸成

スタートアップ・ファーストの意識および支援に対する情熱・責任感の醸成

■ イノベーションやエコシステムに関する知見の獲得

イノベーションに関する基礎的知見（方法論や考え方等）の獲得
スタートアップ・エコシステム形成に向けた知見（取り組み）の理解

■ スタートアップ支援スキルの獲得

研究開発型スタートアップの支援に必要なスキルの養成

関連政策や施策等の理解とそれらを使いこなすためのスキルの養成

■ 人的ネットワークの構築

受講生や修了生、SSA 講師等との交流を通じた、支援人材間の相互補助ネットワークの構築

〈目指す支援人材像の例〉

■ 研究シーズの掘り起しから事業化までの幅広い知見を持ち、良質な人的ネットワークを活用しながら必要な支援を提供できる人材

■ 研究開発型スタートアップと同じ目線で伴走支援することができる人材

■ イノベーション創出環境のデザインやプロデュース、現場課題の改善を主体的に担おうとする人材

II-3. 実施内容

(1) 開講研修

日程:2025年6月2日(月)午後~6月4日(水)午前(3日間)

場所:Kawasaki-NEDO Innovation Center

(神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー5F)

内容:研究開発型スタートアップの支援人材として活躍するために必要なイノベーションに関する基礎的知識や、研究開発型スタートアップの経営・支援に関する方法論、伴走支援スキルやマインド、そして我が国のスタートアップ・エコシステムに関する諸知識について、座学やディスカッション、ワークショップ等で学んで頂きます。

(2) On the Job Training(以下、OJTという)研修

日程:開講研修後から3ヶ月間程度

場所:現地もしくはオンライン(メンタリングの実施方法およびイベントによって異なります)

内容:NEDO が実施する研究開発型スタートアップ向けの助成事業(NEDO Entrepreneurs Program;以下「NEP」という)等のメンタリングや、スタートアップピッチイベント等に参加して頂きます。研究開発型スタートアップに対するサポーターの一人としてのメンタリング同伴や、ピッチの聴講等を通じて、研究開発型スタートアップに対する支援の現場を体験して頂き、報告書を提出して頂きます。

(3) 地域エコシステム研修

日程:2025年7月16日(水)午後~7月18日(金)午前(2泊3日) ※1

場所:鶴岡サイエンスパーク周辺(山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2)

内容:鶴岡サイエンスパークは、山形県や鶴岡市からの行政支援をベースに、大学、民間企業、市民を巻き込みながら発展を続け、今や世界が注目するバイオ系スタートアップの一大拠点となっています。研修では、サイエンスパークの発展の過程や、エコシステムの構築に向けた取り組み等を学ぶと共に、サイエンスパーク内の研究所から生まれたスタートアップのCxO(Chief x Officer)による講義や関連企業の見学、SSA 講師と受講生間のディスカッションを通じて、研究開発型スタートアップに対する支援人材としてのマインドセットを醸成します。

(4) 合宿研修

日程:2025年8月4日(月)午後~8月5日(火)午前(1泊2日)

場所:都内にて調整中(研修中の宿泊先は事務局が指定します。)

内容:シード期の研究開発型スタートアップが起業するにあたり、様々な情報や支援が必要である。

そのため、研究開発型スタートアップ支援者には研究開発型スタートアップの技術分野や人的・資金的体制に応じて様々な支援スキルが必要とされる。研修では合宿形式で、必要なテクニカルスキルの習得、ケースワーク等に取り組むことで、研究開発型スタートアップ目線の伴走スキルを育成するプログラムを実施します。

(5) 修了研修

日程:2025年10月上旬~中旬を予定(2日間)

場所:Kawasaki-NEDO Innovation Center(同上)

内容:修了に向けて(1)と同様に実施し、OJT研修で学んだ事についての報告会も実施します。

SSA プログラムは、上記(1)~(5)の内容で実施する予定です。(1)、(3)~(5)の研修は基本的に現地にてすべての講義を受講頂くことを想定しております。(不参加の場合は、後述の修了要件に影響しますのでご注意ください)。

※2 日程は前後する可能性があります。

(ご参考)2025年度第1回(9期)の研修区分と講義タイトル(予定)

※3 講義内容等は変更となる可能性があります。

<開講研修>

スタートアップ・エコシステムの様相と課題

イノベーションの思考論

経済産業省におけるスタートアップ関連政策について

異能の掛け算 -新規事業創出の方法論とチーム論

研究開発型スタートアップのメンタリング(概論)

科学技術ビジネスプロデュース論

研究・技術開発を中心とした事業創造の潮流

Deep Tech Startup 外部資金公募攻略

ディープテック・スタートアップの資金調達と資本政策(概論)

研究開発型スタートアップの事業計画分析(概論)

<エコシステム研修>

地域のスタートアップ・エコシステムの展開

地域のスタートアップが進めるイノベーション

鶴岡サイエンスパーク等の見学

<合宿研修>

ベンチャーエコシステムデザイン戦略

ディープテック・スタートアップがシード期を乗り越えるためのピッチの描き方

ケースワーク(起業家体験等)

<修了研修>

スタートアップのビジネスのグローバル化支援のために知っておくべきこと

テクノロジースタートアップの知財戦略・マネジメント

IPモチベーター研修

研究開発型スタートアップで活躍する女性起業家・キャピタリストによるパネルディスカッション

デザイン思考の先を行くもの～未来創造のための米国最先端デザインメソッド～

研究開発型スタートアップのメンタリング支援の実践

III. 応募要件等

III-1. 応募要件

SSA の受講生は、(1)～(5)に示す条件の全てを満たす個人とします。なお、受講期間中に下記の要件を満たさない状況が発生した場合、事務局の判断によって SSA プログラムの受講資格を失うものとします。

- (1) SSA プログラムの受講を通して知り得た企業情報や、企業及び講師等から提供された技術情報、営業秘密情報及び個人情報について、秘密保持情報管理を順守することができる日本の居住者である者(ここで言う居住者とは、外国為替及び外国貿易法(昭和 24 年法律第 228 号)(以下「外為法」という。)の居住者(特定類型該当者を除く)であること。)、また NEDO が指定する秘密保持情報取扱係る書類に署名できる者。
- (2) NEDO 及び各種研修実施先において、公序良俗に反しないよう、安全上及び衛生管理上の措置に従い、順守できる者。
- (3) SSA プログラムに適切に参加できる者。プログラム中の講義やワークショップにおいて、他の受講生と協力して必要な課題の提出やワーク等を行い、円滑なプログラム運営に協力・貢献できる者。(必要に応じて所属機関から受講の承認を得ておくこと)
- (4) SSA プログラム実施期間中および修了後において、受講や運営に必要な各種連絡、アンケートに対して適切に対応できる者。また、SSA プログラム受講生の連絡先等については、NEDO 等のスタートアップ支援制度やイベント等のお知らせ等を目的に、NEDO および運営委託事業者が管理・利用することに同意する者。
- (5) 暴力団排除にあたって、現在および将来にわたり下記の項目に該当しないことを誓約する者。
 - ① 法人等(個人、法人又は団体をいう。)が、暴力団(「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)であるとき又は法人等の役員等(個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所(常時契約を締結する事務所をいう。)の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき。
 - ② 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
 - ③ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
 - ④ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を

有しているとき。

Ⅲ-2. 応募に関する重要事項

(1) SSA プログラムの費用負担について

受講費用は無料です。

但し、各研修、OJT 研修参加のための交通費、宿泊費および飲食費は受講生のご負担となりますので予めご了承下さい。なお、研修実施中の会場移動費、見学費等は事務局が負担する予定です。

(2) その他の留意事項

地震・台風等の自然・交通災害、講師の急病等、他やむを得ない事情が発生した場合等、事務局が必要と判断した場合、当プログラムの一部もしくは全部について、遅延、中断、延期をさせて頂く場合があります。

Ⅳ. 応募方法

Ⅳ-1. 提出期限及び提出先

本募集要領に従い、以下の提出期限までに、「応募申請書の PDF ファイル」を所定フォームからアップロードしてください。郵送、直接持参・FAX による提出、期限を過ぎての提出、不備のある応募書類は原則として受け付けませんのでご注意ください。

(1) 提出期限： 2025 年 4 月 18 日(金)正午まで(必着)

(2) 提出先： Web 入力フォーム

https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/ssa_student2025_1

日中に対応可能な連絡先(TEL、E-Mail)を必ずご記載ください。

Ⅳ-2. 応募申請書の作成

(1) 所定の応募申請書(Excel ファイル)に記入し、必ず PDF に変換したものを提出してください。PDF 変換時は2ページのファイルとなっていること、文字化けや切れ漏れ等がないことを十分ご確認の上ご提出ください。

作成した PDF ファイルにパスワードはかけないでください。

(2) 申請書は日本語で作成してください。

(3) 写真データは、応募時から 1 年以内のもの(jpeg. gif. png.等)を用い、画像を申請書に画像形式で貼り付けてください。

Ⅳ-3. 応募情報の取り扱い

応募に際し申請書等に記載された個人情報のうち、SSA 応募や通知、受講等の運営などに必要な情報は、NEDO SSA 事務局委託先に共有されます。

またアンケートや特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。応募の個人情報は上記目的以外で利用することはありません。(法令等により提供を求められた場合を除く)

Ⅴ. 選考

Ⅴ-1. 受講生数:40名程度(予定)

V-2. 受講生の選定

(1) 選定の観点について

申請書の内容について、下記の観点から書面審査および面談審査を行い、総合的に判断・審査した上で、受講の可否を決定します（選考・審査に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください）。

① 経歴

これまでの経歴や業務経験、専門分野など
(スタートアップ支援経験の有無は参考にします。未経験の方も、受講の必要性や動機等で総合的に審査しますので、ご応募可能です。)

② 人物像 (志望動機・理由等)

研究開発型スタートアップに対する支援にかける情熱や、「支援人材」として必要とされるリーダーシップ、コミュニケーション力、協調性、思考の柔軟性、スタートアップ・エコシステム構築への貢献意欲など

③ 受講環境

研修参加日程の確保 (不参加可能性の程度) など、応募申請書面の「確認項目」の承諾有無

確定した研修日程は、公募終了後に応募者全員にメールでご連絡しますので、期日までに研修参加日程(不参加可能性の程度)をお答えいただきます。

(2) 書類審査、面談審査について

書面審査および面談審査 (オンライン) の 2 段階審査を予定しています。

面談対象者には、4 月 30 日までに面談日程調整のご連絡を差し上げますので事務局からのご連絡をお待ち下さい。

〈面談審査期間 (予定)〉

2025 年 5 月 12 日 (月)~14 日 (水)、予備日 15 日 (木)

(3) 受講生決定に関する通知について

① 応募結果の通知について

5 月 23 日までに E-Mail にて、事務局から各応募者宛に審査結果を通知します。※WEB 等での公表は行いません。採択となった方はメールに記載の期日までに受講の意思をご返答ください。

② 審査結果の詳細については非公表としますので、お問い合わせ頂いてもお答えできません。

③ 受講が決定した方には、改めてプログラムや自己紹介シートの作成依頼などのご連絡を差し上げます。事務局からの連絡にはご注意のうえ、受講準備を進めて頂きますようお願いいたします。

VI. 修了要件

下記 4 つの要件について、最終的に SSA 事務局がその達成状況を確認した上で修了生の決定を行います。

【要件 1】以下の座学研修について、総講義時間の 8 割以上を受講していること

開講研修、地域エコシステム研修、修了研修

【要件 2】合宿研修に参加していること

【要件 3】OJT 研修で行うメンタリング参加は事務局が指定する回数参加していること

【要件 4】所定の報告書を事務局の指定する期日までに提出していること